

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞乳癌転移経路における組織因子経路インヒビター 2 とD-dimerとの関連性	
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部外科学分野（附属板橋病院乳腺内分泌外科） 榎本克久	
＜研究期間＞ 機関の長の初回許可日 ～ 令和9（西暦2027）年12月31日	
＜対象となる方＞ 当科において西暦2021年1月1～西暦2025年12月31に乳癌の初回手術を行った方を対象とします。手術を行った方のうち、採血でD-dimerを測定した方を対象とします。	
＜研究の目的＞ 乳癌の転移経路においてD-dimerと組織因子経路インヒビター 2 (TFPI2)の発現に関連性があるのかを検討します。TFPI2は癌の組織においては、癌抑制遺伝子として考えられており、乳癌において浸潤、増殖、転移を抑制すると報告されています。	
＜研究の方法＞ 乳癌の手術で切除した術後の病理検体を用いて免疫染色を行います。乳癌の組織におけるTFPI2の免疫染色を行なった結果と血中D-dimerの値を評価し、病理組織学的因子や転移再発の有無や予後について探索的観察研究を行います。	
＜研究に用いる試料・情報の項目＞ TFPI2、D-dimer、腫瘍マーカー（CEA・CA15-3）、再発率、生存率、手術時年齢、合併症、stage 腫瘍径、術前治療の有無、術式、病理学的所見（サブタイプ、ly v NG HG リンパ節転移）	
＜お問い合わせ窓口＞ 〒173-8610東京都板橋区大谷口上町30-1 日本大学医学部附属板橋病院 乳腺内分泌科 榎本克久 03-3972-8111 (医局) 2450 PHS 8153	

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方